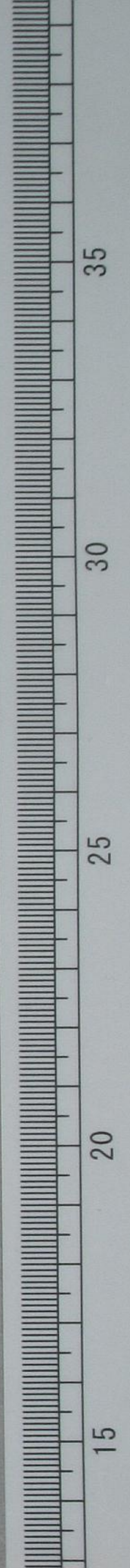


要米利加合衆国
報告文

萬二郎資料一併
申在

ストンズん購入交渉

柳田文庫
文庫11
A1978



文庫 11
A 1978

柳田泉文庫

イ

三田氏
印

フセックス

サニフラス

諸役人

等

三田氏
印

子官 二十七年 九月 二十日 立派和加

合衆國 カリホニヤ サニフラス ニスコ 子官

日本の コムネルニヤル アゼニシ 南田と云

死ニ於テ

日本の 大君 殿下より 余一ツマニトニ

格を 与ふる コムニツシヨシ 山野友太郎 様

事ある 貴名ニ 趣と 余謹て 足下ニ 報告

す

余ハ 序ニ 於テ 余ハ 恭敬ニ 之ト 呈下

ニ 表ス

樂 五 五 五

日本のコメとシヤルアセント
キリスウールエットブルックス

カリホシヤ(カ) 野

市中頭取 クーレ

ゼンラール ハルレッキ

アドミニラール タツタリ

運上頭取 ミルラ

貨幣局頭取 スウエー

吾六名花、條約派各國コシユル占究日文
言く書翰抄

金花堂

一子

ニユーヨルク
若くは
テレカラーク
各ワシントン
府に
書翰あり

子百六十七年四月二十日

ニユーヨルク

ワシントン外務事務宰相ニワレト君に

私カキハシロニユーヨルクに

不日ワシントンに

山路 友太郎
松本 幸次

一 号 未 輪

ウシロノセ
ニ一ニク在る
ウシロニト
ト報告

千八百六十七年十月二十日

日本通信社ヨリ

来週一週日しり速にウシロトと云余是下
と待込すは——早トニ一ヨクシ
洋在中
はチレトと云る由——周旋す

カフル子チニワルト

金花堂

二 号

ウシロニ
若一命
狂臥ト控
ト書物

早米和加合名自報政

オノレーブル

ウキレム子チニワルト

以書翰中下下係ハ新在時。有石
若下下若下日本政府より付在
者一早速上上。部合次力
とリ。振替。友。村。信。大。新。ハ。相。果。博。子
度。五。二。即。年。十。月。十。日。 少。野。友。内。部
信。中。事。の。事

二冊書翰

~~茶書~~

~~カント~~

~~抄~~

二冊書翰

茶書

外國事務

子台 二十七年 四月 二十七日

ワシントン

少野友彰

松平定重

三ノ下

少野友彰

松平定重

政務の命せしめし候旨を付するに由致す

而して御所御成せし趣を述べたるの事なり

若し四書とて余次候と述べし外國事務

相成も近々いふ當都府に候

金花堂

茶書因縁し茶書の略を述べし

茶書の略を述べし茶書の略を述べし

表す

アッタメントセクレタリー
エフエーケニールト

乙子未翰

卯年四月廿七日
ワシントン
外國事務局
シールト
系

手付上十七年四月三十日

ワシントン 外國事務局 宛

西野友藏

呈下ニ呈上

松平重直

西野友藏 松平重直 宛
卯年四月廿七日 附 書翰 謹 啓
呈下 當部 宛 者 申 趣 述 入 旦 貴 國
政府 命 せ せ 一 使 命 何 等 落 而 令
し 好 定 人 山 口 等 入 る 〇 〇 の 由 り
若し 四 吾 一 一 一 余 次 件 述 余 是 呈 下

金花堂

の 申 事 一 一 一 當 部 宛 者 申 一 一 一 一 一
上 野 友 藏 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
余 村 重 直 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

外國事務局 宛

ワシントン

二号

四月廿九日
大統領口上振

外四月廿九日
大統領口上振
御前オノレブレ
合右國大統領口上振
大君殿下は
皇權と表して
大統領口上振
全と祝して
合右國人民
幸福を祈り
大君殿下に
御下付け
敬儀と表し
大統領口上振
と益、固く
兩國人民
交を誦し
永續せし
双方人民
互に親睦
と重んじ
于幸福を
進めんと
希む

金花堂

四号

四月廿九日
大統領口上振

本日卯日
大統領口上振

小野友五郎
松平喜多美
余は是下等
合右國
政府に
奉る事
信交を
喜ひ
止大君
殿下
余が
安
全と
祝して
我國民
の幸福
を祈り
この
趣を
呈す
より
述べて
は余が
感謝
する
所を
是に
呈す
大君
殿下
に
報告
せし
ま
す
小野
友五
郎
松平
喜多
美
合右
國
大統
領口
上振
の
文
は
余
の
心
を
信
じて
疑
を
容
れ
ず
蓋し
余が
心
を
信
ず
所
以
は
余
自
ら
所
見
ゆ
り
即
ち
人
間
の

通商の能く信は益、信を固くし嫉妬は毒、疑心より生ずるものなり。○合衆國は日本は皇朋友たざるを得んや、此の兩國の間は彼の所者と此より美むの理なく、後事を起して彼此相害する趣きなきは、此の兩國の相違隔せる所なり。

余は日清の各代官に面会することを喜ひ、（書所記） 明の次件と告ぐ、（余が今云ふ所の内には遠く世界中に達して指支なきものなり） 合衆國の初て日本に入ると許さるし、一帯より余輩は双方の便を顧ずして、（書所記） 利を得んとすの意

は、又我國は嘗て内亂の害と蒙りしが、今日日本は然る由なり、日本大君より余輩に告ぐ、言事は中心と打明て、隠す所なき義理あり、一は禮を盡せり、且此を以て、（書所記） 合衆國の人、民との間を起り、（書所記） 雜事は貴國の君主帝の力と盡して、（書所記） 此を除けり。○……我國は初ては次中、國界と廣くして、（書所記） 日本に近つき、且又新に蒸気船の道を開て、兩國の間に往來を通し、（書所記） 右に次中、（書所記） 兩國の間、貿易通信の交益、存心なき事、理なき事、若し此の理

と知れずして互に相尊敬せざるは、
 余が罪には、
 是下等の用向け便利と計て、
 親友の國へ對する如く言と用以禮と畫し、
 志氣と違する、
 府の缺する有る事柄、
 忠告し、
 快くする有る

金花堂

四号

伊丹守外自
 独白のプライ
 手かきり終
 書翰

カレール
 外國事務
 此書翰、
 口ベルト、
 少下等も、
 おれ、
 甲子

小野友五郎

伊丹守外自

来書の件向

五号奉報

外務事務局長

プライム

手紙

名

子言六十七年九月八日

外務事務局長

山崎友太郎

東京

松本

山崎友太郎 松本

書翰を謹み

余次件と速ふり

ミス

父々連

次の一週

金花堂

余謹々答致す

外務事務局長
ウ

六号 奉報

御國の結核
以斯和和存
雖此
之報

子言六年九月十九日

御國自

山野友

景下

松平

余權の山野友友松平松平景下白下景下等
考國政府の命を以て當國に招き
是、外國事務松平松平の贈物は余輩に
あつたの定りも合意國の律令に
此等の士官は松平松平の訴
斯の贈物と受領す

金花堂

方今洋事堂と開くたる右の品
物は只本國製造品のみなり
概のものなり且り政府より
好きの贈り
余景下、孝景下とあり

外國事務
容ルム

五号

アノチ

ストリンダ
船倉の
イナ
止中

外國

アイルランド

流展ストリンダ
見以
我政
友
之

何年何月

長中

流の厚

大砲

金花堂

トニ数

並気

石

日

一

附

行

多

端

船

受文者、船に徳使談判を要し、上は市を以て
此舟、英國士官の余、一、年一、か、一、月、後
三、日、前、付、振、り、返、る、に、事、に、三、日、前、出、航、
ハ、由、奥、大、道、一、

丁酉十月

小野友成

本、一、年、文、書、存、在、通、分、一、上、條、一、一、多、事、亦、
貴、電、に、依、り、答、を、以、て、後、日、年、止、了、一、五、
一、一、一、一、

金花堂

丁酉十月

七年十月

キルトニヨリ
ストロニヨリ
船に得し、
船政、
多、事、亦、

十月十七日

外國書

昨日、船に貴船と唯々、確、了、後、を、了、ラ、ム、船、
ストロニヨリ、の、事、一、有、三、下、ヨリ、實、同、一、是、
各、細、外、國、事、務、報、知、一、之、方、分、次、身、一、連、一、
三、下、ハ、報、者、寸、一、
今、報、に、事、務、一、余、ハ、石、在、ナ、リ、一、は、甚、
一、三、下、ハ、報、者、寸、一、

アールエスキルト

小野友成

三下八星

八月書報

印中りたる
海軍省センケニス
ス、左レスより
書籍を贈、洋書

子官六十七年九月十日

海軍省

會同海軍省の
プロモドールエーセンケニス 花ニ海軍省の書記官エカ
ウレス 謹ア、い書籍を日本大君殿下の
コミシヨ子ハ、是ニ

金花堂

九月書報

日本洋流人、
多クハ、ニユーヨル
市、期、五、格

子官六十七年九月十日

ニユーヨル市

日本洋流人、

山野

修業

余はマツカッタセト州、ブルハレン、存、ウ、ウ、ウ、ウ、
エ、ケ、ホ、ワ、イト、フェ、レ、ド、なる、者、なり、
存、呈、下、に、質、問、す、る、ゆ、え、ウ、ウ、即、チ、貴、國、の、人、
一名、不、幸、ニ、一、孤、島、ニ、居、せ、
と、天、恵、ニ、申、り、余、が、落、下、枝、毛、を、書、目、下、ま、り

エニヨルク
とほ人なる
ホワイトスト
ト漂流人
とありて

教育を加へて航海術と學を以て色たり
只人の故郷を思ひ家へ歸ることを中心の祈
願を本國を離れて他郷に居るの困難を苦
は他人の場へ出る可き事後本國に歸り
國の爲に爲りたる事業はボウヂの航海術
と自國の語を翻訳せり○其後余は絶えず
信を得ず異邦に居りて日人のみならず有邦人
何處に任ずる事を知りて余は
報へ給ふべし

ウクレエエーホワイトスト

和國人一名を幸よりて漂流し一孤島に居せしが
大患に依り足下を爲し救を乞て當國に來りて
航海術と學の道に本國に歸りて者ありて
せしむる書翰を以て和國人漂流して居る
小教を乞多少英語と學て家へ歸りて者あり
少くも言はば古問合へ人おと健名持し接折
少くも言はば世に姓名も流布し者あり
人ありて是れ是れ善次郎と名を以て日本
海に航し合え國に別かたり本村橋濱に

和國人

居住の... 考張... 三入... 者... 事務

我土... 航海... 志... 事務

其政... 志... 事務

人... 事務

其... 事務

事... 事務

月... 事務

小路友之

事務

事務

十月

外務省

事務

事務

十月

事務

事務

事務

十月十七日

外務省

小路友之

事務

海軍事務

事務

事務

事務

事務

事務

余禮命恭致しよと表す

外國事務大臣

ワイルムエーケニールト

不審し海軍

千八百七年六月十日

ワイルム海軍大臣

外國事務大臣ワイルムエーケニールト

日本政府の爲に擴張する船隻の事

同船の事、其の意を軍部

ニ呈す

左に報告する事は極細密なるものには

ミも大元艦なる所なり、ストーンワールの

心の船とハワナのドックに上げたる海軍

士官定と取柄へ書付海軍向を改定するの
事、別付を呈し、呈したる、未書は右士官の
認め、ものなり

海軍、右の如きは船、及び部を、
船中本、部名の右様は海軍向をめぐり、
いさなり

海軍向をめぐり、スト、と日中、送商の
意、左、記せる、價はワ、と、府、の、主、
なり、●、但、雨、船、カ、ピ、タ、へ、相、決、し、て、其、
主、と、為、す、は、し、船、と、何、方、へ、送、り、送、り、

全巻

右、其、指、言

海軍事務、
左、レ、ス

果、送、り、送、り

船
長
何
程
か

船張之船ストロニナル

ノ覺書

何年何季何打建ト哉

台の六十四年俵三東西のボルトニ程

アルマニヨリ者け建を打建カリ

船長何程ノ哉

船長百九拾六フットアルマニケキランノ間

ノ長百六拾セフットボームバルクノ長三十

ニフット船の床ニ入たる部分の長二十六

フット

船の厚何程ノ哉

三イニチ

大砲ノ銃ノ数ノ種類は如何ノ哉

筋入三百ポントのアルムストロニ砲を接同

七拾ポント砲換短キエスロルト銃四十換

海軍用ピストロニ拾換刀五十振

トニ数何程ノ哉

大凡七百トン

蓋瓦極度力は何程ノ哉

凡六百馬力

一日、石炭何程と賣し 船中何程貯蓄
一日二拾トと賣し 船中貯蓄ト
一時或里と走ル部

一日三拾トとの石炭と賣し 一時、七里二分
を在と走ル部

掛貯品貯蓄品

軍艦必用、掛貯品貯蓄品は船中備えり
亦々以存の誤りとかさる

修費兼近何りも掛貯部

三四週日

音組人数何程と部

ハワナトイ 音出部 三き 水夫拾き
尋常の水夫拾き人 修働 人数
抄拾り人 火焚拾り人 傷人呈

端船人数何程と部

四般

船價何程と部

四拾万ドル並 気概関花 釜は其より
十二品 金名 船中貯蓄
万ドルの價はる部

320000
48000

外務省
外務省事務報告
第七号

七号

ストロニウール船
海軍士官並後
務報告上舟重
閣令書格

合衆国外國事務概政

オノレーベル等止ムエキニワルト日

道名陸軍... 海軍事務報告より返報... 別示重言... 又日本政府

金世記

海軍士官... 閣令書格... 合衆国外國事務概政

合衆国外國事務概政

小野友吉

外務省事務報告

本書再長

十一年身物

外國事務取扱
及関係事務
一、拾貯書物

子官六十七年十月二十日

外國高台

七野友太郎

三ノ目

拾貯書物

日本大君殿下ニ
七野友太郎 松印事

余、所々連々周旋す

余、所々連々周旋す

余、所々連々周旋す

外國事務取扱

ウキルムニケニワルト

十二年身物

フライニ
約達上
子、其子
収納向
名、東
少、口
身物

内用

子官六十七年十月二十日

外國高台

七野友太郎 足下ニ

三ノ目
フライニ

余、所々連々周旋す

余、所々連々周旋す

余、所々連々周旋す

余、所々連々周旋す

余、所々連々周旋す

本具謹言

一千九百一十一年

金澤

明治三十二年

外國事務報告
ストロニク
系組士官等
多編再編
別紙

明治三十二年四月九日

外國局

小野友之助

足下

御事

小野友之助様
松本様より
余が贈るもの
少の所書指し
再答として
海軍事務報告
印刷金賜る
書指し
と謹不足
下

余再の答返と
足下へ表す

外國事務報告
別紙
ストロニク
エー
ワー
ワルト

金澤

十二号 五編
海軍

子官中七年六月二十日ワシントン

海軍向る

仙國事務執政オノレドブレウシヒエケレワルト

本月二十日附シ其編第ニ日中ノコトニシテ子官中野右衛門

松中事ヲ更トシストリニワルル船ノ内ニ存高又事下

ト同令セシ書翰ニ返シテモ謹テ存セシ

右ノ田舎ニシテ余次件ニ迷テ當局ヲ希トシテ程ヲ

主振ニシテストリニワルル船ニテ存高ノ補給ニ大ニ

砲火腕ニテ元ト右船ニ附屬セシメテ其ノ果ヲ備

附シテ其ノ食料 石炭 油 干外 日中ニシテ

樂 益 益 益 益

金花堂

航海入用は別

書局方多はストリークと日本下送る存士信

と余一火夫と及抱ると好まざり然見り着了

所望のば山毛と雇ふのと用程十と航海

海世一者内着山又は数年一問政府の用ひ

見一者と雇入るは必は一船も入るは

由良信言

海軍事務

之レリス

金花堂

八号

不ニシラ
下賜書翰

合在國の内務省

名ルレムニケレワルト

艦上の上の艦の張ラム船ストリーク

の文存中月十の附書翰を以て同合を

の如く四書一昨の貴船を海軍事務

執政の書翰四とも落子附を以て

主信合在國通用貨幣四拾番トルレと以てストリー

ク船諸事の手決り以て六重言は口船

補修の如く十名用を以て主信の

を備附大砲の麦草は茶樽をレットに掛者

三百とアルムストロと二葉利加度

榮益堂

十四年三月

外國事務
ト下
船大
上付
並
別

イニ左記
且又右船
船海後世
此船
此船
江戸在る
オレグ
支那
お具
四月廿
小野友
此船

金花堂

子宮亭七年

外國事務

小野友

此船

スト
足下
事務

余
連

海軍事務
同合
初合

樂益堂

たし 舟具修了

外務省執政

ウレムエリナレワルト

第 六 頁 一 冊

十四年
活書

明治十七年九月二十七日ワシントン

海軍局ニ於テ

外務省執政オカレブレウレムエリナレワルトニテ

九月二十七日附シ夫船長^コウ^コイ^ココムミツ子ルストニウレ

船と買取^ウウ^ウと^ウ決^ウ源^ウ一^ウ尚^ウ又^ウ同^ウ合^ウの^ウ趣^ウと^ウ述^ウた^ウる^ウ書^ウ翰^ウ

とも^ウ權^ウて^ウ後^ウを^ウせ^ウり

コムミツ子ル三百ガントの^ウ中^ウに^ウアル^ウム^ウスト^ウロ^ウと^ウ三^ウ米^ウ利^ウ加

炭^ウ明^ウの^ウ十^ウ五^ウイ^ウ左^ウ砲^ウ取^ウ替^ウん^ウと^ウす^ウる^ウウ^ウと^ウ存^ウ大^ウ砲^ウ掛^ウの

者^ウは^ウ同^ウ合^ウた^ウる^ウ要^ウ其^ウ回^ウ答^ウニ^ウ云^ウク

スト^ウレ^ウウ^ウレ^ウ船^ウ米^ウ槽^ウの^ウ地^ウ門^ウと^ウ吟^ウ味^ウせ^ウ一^ウ等^ウ

樂 益 登 載

然るに門の捕鯨と改定は十戸に五戸と備附
し、又縦令の門の捕鯨と為し、
この大蛇掛の方へは當付者合の単巻を以て故、
別帳内定と製送せざるを得ず

ストーリ船と日本に送る者、合不國政府より相當の士官
と命ずる者、此のミツ子等の扱はるるは先般の如
く云ひ、如く當局の如くは吾船と日本に送るは、
引更さるべし、候、海軍局の職掌と勤也、
者亦共は此の如く、人の如くは、十元を以て其
教令と為すべし、又當海軍局の公用と

一、計船を捕鯨の要を為すは勤役の士
官一名と命ずるべし、引更しむべし、候、
船と送らるるは政府の公用と為す、是等は一
の群同は是は、足下の考案に任せて、
コムミツ子等は海軍局の人又は航海校の者、
一若と撰り、他の士官を雇ひ、水夫を兼て、食料
用之品と積入、航海中為す、是等は石炭と
買入、是等は、一名の者、各任して、右入申
の重子と為す、是等は、是等は、
即、合不國政府よりストーリ船へ補給を加へ

この船を口舟に乗上りて、
上は海上第一の先鋒を、
法艦を引

船代一部の排弁を先引はる、
其

右述の所の第一なる軍艦候交、
海軍奇をめぐはす、
船の帆の用を、

右述の所の第一なる軍艦候交、
海軍奇をめぐはす、
船の帆の用を、

右其謹言

海軍事務執政
シテラン
ウエルレヌ

十五号奉

外國事務執政
シテラン
ウエルレヌ

子官六十七年六月一日ワシントン

外國局名

ストーンワール船の、
其報告と送せし、
大差敷下、
二王、
余又、
より、
と法取、

ストーンワール船の、
其報告と送せし、
大差敷下、
二王、
余又、
より、
と法取、

ストーンワール船の、
其報告と送せし、
大差敷下、
二王、
余又、
より、
と法取、

ストーンワール船の、
其報告と送せし、
大差敷下、
二王、
余又、
より、
と法取、

ストーンワール船の、
其報告と送せし、
大差敷下、
二王、
余又、
より、
と法取、

果

は等下ノ持回ニ持テ出納ニトシテ
余毎以奉返シテと表シ

外國事務執
シムエケレワルト

[Faint bleed-through text from the reverse side]

十
五
年
一
月
一
日
海軍

子等字七ホク月三午百ワシト

海軍向

只此政府ニ各ストリシタル船を買入ルニ付
等下ノ贈与ニ付テ二十日附ノ書状を據テ
落子トシ日本コミンツヨリノ望存ストリシタル船と
シテ補理せん為メ昨日具命ト下リたり
海軍所ノ指揮官ト其命ニ付たり但一補理とあり
上ノ各コミンツヨリより
船の諸取方と命
トシタルと日本ト送リ
の爲ニと爲ス

無
誤
也

海軍士官の少佐を命じ、コムシツヨク河原上る其布
 人より移交し、は帳と拾巻年ノ
 當向ありは七子七百六十七トラン、拾四セントの價と
 十一イニを、砲を換、口車基、附金品、弾薬と、後、
 印々、原書別紙の通り、なり、お具、様子

海軍事務報

ジデラシ

ウエケレス

外國事務報

オ

ウケルニテ、ウケルニテ、ウケルニテ

拾巻イニを、砲を換、口車基、附金品
 弾薬

拾巻イニを、砲を換

回試、輪、運送、業

ロック、アプロシ

ブリク、エ、サイト、アプロシ

フ、ラ、トル、ワ、ルト、サイト、アプロシ

ロク、ク、及、以、ラ、ニ、ヤ、ール、ト

フリ、ニ、ニ、ク、ワ、ー、ヤ

ボ、ー、リ、ニ、ク、ビ、ット

一、拾、格、五、セ、ン、ト

一、拾、格、五、セ、ン、ト

一、四、ト、ン、五、格、五、セ、ン、ト

一、キ、ト、ン、五、格、五、セ、ン、ト

一、ム、ト、ル、六、格、五、セ、ン、ト

一、ム、ド、ル

一、ム、石、ト、ル

一、子、宮、拾、五、ト、ル

一五拾セント

ソムストール

一五拾五トシ五拾セント

エレキトキガ スクルト

一ニトシ

トムピヨン

一五トシ

ミエツズレボク

一九トシ

サイト及のスクルー

一ニ子トシ

車巻

一拾五トシ

ゴニスクレープル

一拾トシ

シフトラツツル

一六トシ

トラリスホルテールヨシ

一六トシ五拾セント

シフチニグブロック

一ニトシ五拾セント

ラムマレ

一拾四トシ

スオシジ ブリストー

一八拾五セント

スオシジ カツプ

一四拾トシ

ブリーチニグ

一六トシ

フレクニグ ブリーチニグ

一五トシ

ハンドスパイク 二個

一五拾トシ

タックル 六個

一八トシ

ハツニグボックス

一六トシ六拾セント

フライムルボックス

一拾セント

ステジピットル

七百ト

空揮る箱入

一六五拾ト

實揮る箱入

一四〇拾ト

紫葉百 拾五ホト入

一五〇拾ト

口百 拾五ホト入

一四〇拾四セント

フライムル 拾五

七子七百六拾七ト 拾四セント

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

九号

ストロニール
船に大砲を乗
括と別格十一
イニを砲を換
五兩五白船
示込士官一名
人様...
外中...
担...
表...
...

全圖の事務執改

オノレグ
ウアルムニエリ
...

獲て...
船...
改...
上...
...

...

Blank lined page with vertical columns.

十号

十号の文 但し十号も核文と相...

合意國外軍事務執政

オノレーブル

外務省事務 十号の文...

Vertical columns of handwritten Japanese text.

四拾五ト古納中より佐々高し力に拾
 歩トク名士ストーンウシ船代重し力拂
 今多國政府ト少引云ト七子七百六拾七と元武拾
 四セト古海軍事務執政より書箱中二方一拾五
 イニテ元砲務のあり内料一府本村粒と一
 同以の引取七子トク名士三ーヨルクと
 左方女子トク名士サレクニモ右佐々高し力に拾
 職言ト事出其後尚又佐々高し力に拾七
 書箱三年五月新
 少野友太郎
 松中身事人

十二号本報

外國事務執政
 ありストーン
 あり船代重し
 あり力に拾
 あり元武拾
 あり書箱中
 あり二方一拾五
 ありイニテ元
 あり砲務のあり
 あり内料一府
 あり本村粒と一
 あり同以の引取
 あり七子トク名士
 あり三ーヨルクと
 あり左方女子トク名士
 ありサレクニモ
 あり右佐々高し力に拾
 あり職言ト事出其後
 あり尚又佐々高し力に拾七
 あり書箱三年五月新
 あり少野友太郎
 あり松中身事人

子官六十七年六月よりワシントン

外國局

少野友太郎

松中身事人

足下より余の贈る書箱と僅て落し右四書と一
 印の海軍事務執政より書箱の書箱画と一と足下
 二呈し一書中ハストーンウシ船と日本と書と一
 落しエムミンドルブララン白帳と一且七子七百六拾
 七トク名士三ーヨルクと左方女子トク名士サレクニモ
 右佐々高し力に拾七と元武拾四セト古海軍事務執政より

後ニ本意趣と違たるものあり
余若し之と見下る表也

外務部執政
キルニエチニワルト

十六号
洋書

子富字七年六月一日ワシントン

海軍省宛

外務部執政オノレブルウレムエナレワルトニシテ
日本政府各ストレンウアル船と買入るは是存足下より
贈るは勿く其勅を 確る落しせり
ロキニコムニシヨ子レ、ストレンウアル船とロキニクニ
月日ゴムニシドレ、ジブラランと其アセントニシテ
んは若くは人ト信とせり人ト信とせり
我海軍省宛は若くは所望ニ依り、口筆と書免す

十一イシケ他日本基附島品彈菓在先放呈下
呈一トク書面通其用定と為一々少と
ストロウラレ船積込一々具程了

海軍事務報 改
デラシ
空ルレス

海軍事務報 改
デラシ
空ルレス
海軍事務報 改
デラシ
空ルレス
海軍事務報 改
デラシ
空ルレス
海軍事務報 改
デラシ
空ルレス

子首十七年才六月五日三米利加合衆國コロビヤ州
ロシントン船中合衆國の海軍指揮官ジョージブラス
と此方より日本のコミッショナール小野友五郎松本
東大吏足下と彼方より一々約定の覚書左の如し
此方^{中の各條}は左に記載せる趣に於てストロウラレと
當面より日本の積込一々少と為其支取と為
内閣水夫と定むせ人数と其組も其組も人数と雇入
も食料用之品と積込此船と指揮一々航海途中
諸船と支取り積込一々少と為其支取と為
航海の少とと引渡

海軍事務報 改

日本国と徳意志との間に
又此方等は力と盡し
て其の職事と違し此船と口の中横濱港より往
て送るる若し其助と定む航海に及用する士官と
余り水夫と雇入るるの全權と握るるに約する
せり○此方等は合衆國の海軍士官たる面目と立て
吾船と口の中を出入りし速くして其の往來と主と
し航海の押船の長に知事と違し其の
○此方等は此方の信實に若し職事と違し其の
と兼るし此方と金貨五子ドルを共にし
英一ヨルク州に其の費用と持し其の

約束せり

此方等は此方トリス士官水夫トリスの
船の乗るの給料と共に且其者の横濱より往
て其の乗るの責と持し其の約束せしことを信實
に履行するものなりしを引続き其の
此方等は其の積言を成すに相違せざる
其の全權を其の手にし

ト 小野友之助
ト 松平喜久

右御下の積 マイルエスチルトン

石炭

ストーンウール船の支度乗組人数食料
日船と日船を送る入月の積

ノールワルク希 三百トシ

二子ドリ

バルバドス希 百七拾トシ

千七百ドル

リヲテヤイロ希 二百トシ

二子六百拾ドル

セントウヂヲ希 百五拾トシ

千九百拾ドル

ワルバトソ希 三百トシ

四子五百トシ

カラヲシ希 百四拾トシ

千七百拾トシ

サド身ツチ希 二百トシ

六子ドリ

千七百拾トシ

Blank page with faint bleed-through text from the reverse side.

二五
三六
四甲
五戊
六己

下 雑 子 十 斗 十 斗 十 斗

雑 子 十 斗 十 斗 十 斗

さー油

五斗

子 十 斗 十 斗

水夫士官の食料

二斗

子 十 斗 十 斗

水先穿り

二斗

子 十 斗 十 斗

水夫と雇今入申

二斗

食店米玄度

二斗

士官水夫五斗月の給料

醫者

五斗

子 十 斗 十 斗

一等士官

五斗

子 十 斗 十 斗

下等士官

二斗

子 十 斗 十 斗

七

一等並気方

五斗

子 十 斗 十 斗

並気方助役

四斗

子 十 斗 十 斗

火焚掃部

四斗

子 十 斗 十 斗

石炭五板方八人

五斗

子 十 斗 十 斗

機園方二人

五斗

子 十 斗 十 斗

大工二人

五斗

子 十 斗 十 斗

水夫頭

五斗

子 十 斗 十 斗

カヒシシ少使

五斗

子 十 斗 十 斗

助方

五斗

子 十 斗 十 斗

部心直

五斗

子 十 斗 十 斗

...

表
意
悲

九月
八月
七月
六月

士官助方	四拾とん	百方拾とん
料理方	四拾とん	百方拾とん
船料	二拾とん	百方拾とん
水夫	廿五とん	百方拾とん
帆使	四拾とん	百方拾とん
ライフラフト	十拾とん	
クロノメーター	十拾とん	
セキス	百方拾とん	
クダラ	二拾とん	
船浮	百方拾とん	

石炭集

三百とん

十月
九月
八月
七月

船積港	石炭積入	千方とん
船積港	石炭積入	千方とん
士官	十人	百方拾とん
航海	入	百方拾とん
水夫	廿五人	百方拾とん

石炭集

一 二 三 四 五 六 七 八 九

惣計

石炭

二子ト

二萬五千四百ト

さし仕

五石ト

千六百ト

食料

千石ト

千六百ト

水之きり

二石ト

二萬ト

中夫と雇入る人

二石ト

倉庫に下すもの

二石ト

士官水夫給料

二石ト

ライフラフト

二石ト

軍械兵日記

二石ト

十 石炭袋

二石ト

北國諸港に石炭積入る人

千六百ト

十一 口池幸用きし

千六百ト

十二 積積士官の帰航海

四千七百ト

十三 口水夫帰航海

八千六百ト

紙幣 七万五千七百五拾五ト

金貨 五万六千七百五拾五ト

五拾五ト

大正十一年

24	210
24	250
24	241
24	235
24	243
24	246
24	252
24	252
24	248
24	238
24	245
24	235
24	255
24	206
24	225
24	233
24	242
24	214
24	175

大正十一年

010190533005

